

# 旅する工具屋



## 第四話：静かなタンブレロ，安らかなサンマリノ

旅の話の前に，少しだけ私の事をお話したいと思います．名古屋で生まれ育った私は近隣の大学に進学，工学部を卒業して「工具屋」に．そして3年半の欧州駐在を経て「旅する工具屋」となり，もうすぐ30歳になります．モナコの記事でお気付きになられたかもしれませんが車が好きで，頂点に君臨するF1はいつも心を魅了します．伝説のドライバー，アイルトン・セナは映像やTV番組でしか見たことがありませんが，彼の言葉や生き方は今でも大きな力を与えています．

セナが天に召されたのはサンマリノGPですが，開催されたサーキットはイタリアのイモラにあります．両箇所ともに小ぢんまりとした場所なので，私はイタリア出張の前泊日をフルに活用して「聖地巡礼」を行うことにしました．

茶褐色の壁，オレンジの屋根が美しい街並みのポローニャに着いた私はホテルに荷物を置き，世界的に有名なポルチコ(柱廊)を通り抜けて中央駅に向かいました．イタリアの列車，というと“時間を守らない”とか“駅員がいい加減”等々イタリア人自らがジョークにするほどアバウトな印象があります．しかし最近は一味違う，と言うか信頼性がグンと上がっています．英語に対応した券売機やリアルタイム情報モニターなど，国鉄トレニタリアの設備強化によって(遅延はするけれども)必要な情報を得てその場で最適な券を(値段を吹っ掛けられることなく)買う事ができるのです．

かくして危なげなくイモラ駅に着いた私は2kmほど歩いてサーキットを目指しました．川の対岸にTVで見たコントロールタワーが現れると，気持ちは一気に高鳴ります．メインゲート前を通り，地下道をくぐり抜けてサーキットの周回路内に入ると緑の多い公園の様になっています．そしてコースレイアウトの記憶を頼りにしばらく歩き，タンブレロコーナーを見つめるように佇むセナ像との対面を果たしました．



払われた落葉，足元に手向けられた花，今も絶えず人が訪れている事がすぐに分かりました．世代も時代も超えたブラジルの英雄に，人々の心と足は故地イモラへと惹き寄せられるのでしょう．ちょうど私がそうであるように．

傍らのベンチで少し休憩した後，メイン通りのカフェで大好きなツナのピザを食べ，イモラ駅へと戻りました．次の目的地はサンマリノ共和国，世界で5番目に小さい山頂の独立国を目指します．

朝到着したばかりの北イタリア中央部を離れてアドリア海沿岸の街、リミニまで移動します。緩やかに変わりゆく景色を楽しみつつ、急行の電車は1時間半くらいで到着しました。目印のバーガー・キングを探してバスを待つこと15分、サンマリノ共和国行きのバスに乗り込めば後は座っているだけで到着します。しかし、バスの中で会った旅行者から聞いたケーブルカーの存在に心躍った私は1つ前の停留所でバスを降り、ケーブルカーに乗り換えました。



パノラマ・ビューのケーブルカーを降りるとそこは標高750m、サンマリノ共和国です。入国にはもちろん審査も検査も無く、他国に来たという感覚は一切受けません。イタリアの観光名所みたいなものかな、と思いつつ案内所で5ユーロ払って切手と入国記念スタンプをパスポートに捺してもらったことから私のサンマリノ観光は始まりました。

石工が迫害から逃れるべく山頂作った要塞、後に独立国となったこの場所は山の稜線の上にグアイダ・チェスタ・モンターレという3つの塔があります。全て歩いて訪れる事ができるのですが、どこまで行っても耳に聞こえてくるのは協会の鐘、落葉を踏みしめる音、鳥の鳴き声だけです。私は歩みを進めるにつれてこの特別な国をとて好きになりました。



穏やかな秋を楽しみつつ、散策を続けた私は空いた小腹を満たすために年配の男性が営む小さなカフェのベンチでパニーニを食べました。食後にエスプレッソを1杯頼むと、店主は自分の分も淹れて私の横に座って一緒に飲み始めました。「静かで良い所だね」と話しかけてみるも英語が通じず、お互いに苦笑してカップを傾けました。気まづくなりがちなしチュエーションですが、何故かこの時はお互いに静けさを楽しんでいたように思います。

帰りは城門前からバスに乗り、ワイルドな峠をワイルドに走って(いわゆるイタリア式に)、リミニ駅に戻りました。たまたま良い時間に特急フレッチャ・ビアンカがあったので、1時間もかからずボローニャ中央駅に戻ることができました。

ホテルに戻って翌日の仕事の準備をしつつ振り返ると、時間や国を超えて残る美しいものに包まれた何とも幸福な1日。短い時間ではありましたがこの2か所を訪れる事ができたのは帰任した現在となっても大きな財産として心に残っています。今でもセナの周りは静かで、サンマリノには鐘の音と鳥の声が響いているのでしょうか、いつかまた確かめに行きたいものです。

文：ペンネーム 17chandler